



そうわ通信 12月号

《学校教育目標》豊かな心を持ち 自ら考え たくましく生きる子の育成
～学び合い 高め合う なかまづくり～

SDGsの理念を生かす学習発表会 【令和5年12月9日】 ～今年も感染症拡大により、分散開催を余儀なくされ・・・～

相和ハッピー祭を終えた後、間もなくして各学級は学習発表会に向け動き始めました。昨年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、やむなく分散開催という形をとり、一堂に会することができなかったことを思い出します…。と思いきや、今年はインフルエンザ感染症の拡大と重なり、残念ながら2・3・4年生は、20日の実施となりました。事実を受け入れ、次に向けて準備を進めたいと思います。

さて、1・5・6年生の発表ですが、今できる最大限の力を発揮しようとする姿が多々見られ、見るものに感動を与えました。1年生は、1年生らしさが存分に発揮され、大きな演技で「おむすびころりん～相和小バージョン～」をアウトプットしました。5・6年生に至っては、内容がとてもアカデミックで、SDGsの要素を取り入れた発表を行いました。日頃の授業をとおした学びを、知識・技能の習得にとどめず、今後の生活にどのように生かすかを伝えてくれたと思います。

1～3年と4～6年の合奏は、欠席児童がいたために、各パートのやりくりで苦慮し、なかなか音を調整することが難しかったのですが、自分のパートに責任をもち、見事に演奏したと思います。ただ、こちらも全員揃った完成バージョンを聞いていただきたいので、来年1月19日(金)の学校公開時に再度演奏する方向で進めています。子供たちから、「全員揃ってやりたい」という声が聞こえてきたところです。

1学級の児童数が減少している中で、1～6年(練習を見た2～4年も含む)すべてのクラスにおいて、全員がステージにほぼ出っぱなしでした。覚えるセリフも多く、中には誰かが突然欠席となっても対応できるように、台本にあるすべてのセリフを覚えたという子も少なくありません。驚かされる姿です。この学習発表会をとおして、子供たちは、また一回り大きくなったことは間違いのないでしょう。

保護者や地域の方々の参観に感謝するとともに、準備物等へのご支援もいただき、本当にありがとうございました。



1年生



5年生



6年生



全校合唱



低学年合奏



高学年合奏



体育巡回事業 【令和5年11月21日】

湘南ベルマーレとの連携事業を活用し、サッカー教室を実施しました。低学年と高学年の2部で行いましたが、子供たちはみんなとても興味をもって生き生きと活動することができました。

日頃から体を動かすことが得意な相和っ子ですが、この日は、2名の巡回担当コーチの素晴らしい指導により、足でボールを扱うだけでなく、「ボールと仲良くなる」ということを教わったと思います。一生懸命に取り組む相和っ子の姿を見て、コーチの方々も感心していました。



パンジー贈呈 【令和5年12月6日】

人権週間の12月6日に、大井町人権擁護委員3名が来校され、啓発活動の一つとして、心を込めて種から育てられたパンジーを、プランター5つ分いただきました。本校では、環境委員会の児童と担当職員により、今年は種から育てることに挑戦してみたのですが、これがなかなかうまくいかず・・・という状況だったので、余計ありがたいお話でした。

委員の方々から、人権擁護に対する想いを直接聞くことができた環境委員会の児童から、人権を大切にす



手紙の書き方講習 【令和5年11月24日】

郵便局との連携事業で、「手紙の書き方講習」を実施しました。最近、年始の風物詩である年賀状のやり取りもメールやSNS等に移行し、あて名や文章による近況を「書く」という経験もめっきり少なくなってきました。そのような中、日頃から必要に応じてお礼状を書くこともある相和っ子のスキルを高めたいと思い、担当の先生が企画した講習です。これを機会に、実際に手紙やはがきを使って、今の自分のことを伝える機会を設けてもよいかもしれませんね。



今年も一輪車を寄贈 していただきました

昨年度に引き続き、宝くじ協会から一輪車10台を寄贈していただきました。本校は、一輪車と竹馬にチャレンジする期間を設け、よく活用しています。新しい技ができるようになるとうれいですね。「できたあ」の声が今から楽しみです。



続・うれしい報告 ～神奈川県福祉作文コンクールで優秀賞に～

夏休みの取組に対する表彰もひとまず…と思っていた11月下旬に、町の福祉作文コンクールで優秀賞を受賞していた4年の国谷 悠さんの作品が、県のコンクールにおいても優秀賞になったという報告が舞い込みました。

県レベルで作品が入賞するという事は、そう多くあることではなく、本当に素晴らしいことです。近いうちに、昼の放送の時間を活用して、作文を朗読してもらおうとも考えています。相和小にかかわるすべての人たちでこの報告を喜びましょう！

「子育てアラカルト②⑤ ～大人が本気にならないと～」

1月に第3回の家庭教育学級が予定されており、「情報モラル」をテーマに実施すべく、PTA文化保健委員会で準備中です。当日は、ぜひ多くの保護者の方々にご参加いただきたいと思います。

現在、本校の子供たちが通信アプリ等を使うことによるトラブルはあまり聞こえてきませんが、安心はできません。また、調査により動画配信サイトの視聴時間やスマホ等を使ったゲームの利用時間がかなり多いことが判明し、それによると思われる負の影響が少なからず見られます。

例えば、頭が痛いと訴える児童が以前より増えてきたことが挙げられます。目の疲れからくる場合もあり、動画サイトのみではありませんが映像を見る時間が多いことが一因である可能性があります。以前、ほけんだよりでもお伝えしましたが、視力の低下との因果関係も疑ったほうがよいかもしれません。

加えて、ゲームの内容によっては会話の中では使いたくない言語をインプットしたためか、日常生活で相手が嫌な思いをする言葉を発することも残念ながらあります。調査結果から、大人の認識は子供の日常使いの様子と比べ、差異があることも見えてきました。子供が自ら判断し選択することは大切なことですが、何でも「自由」の一言で終わらせてよいわけではなく、やはり最終責任は我々大人にあると考えます。今こそ大人が「本気」になり、心身ともに、子供の健全育成を考えたいものです。